

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °



みらいつうしん

9月号

2020年9月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °



【心のつながりを大切に】

厳しい暑さが続いた夏も終止符が近づき、頬を伝う風が少しずつ秋の訪れを感じさせています。

9月は、特に天候も台風などの影響で変わりやすくなりますので、体調には十分気をつけてください。

園児たちの最近の様子ですが、幼児は、特にこの夏に体験したことや出来るようになったことを、大好きな友達や保育者に、夢中になって話をする姿や体験から学んだことを自分の力に変えて、自信を持って行動する光景が多く見られるようになりました。乳児につきましても安心した環境の中で、自分を出せるようになり、周囲にも興味関心をもって活動の範囲が広がってきています。このような園児達の変化は、集団生活を積み重ねてきた中で自主性が育っている証ですし、みらいこども園が目指す子どもの姿に近づいているととても嬉しく思います。

さて、8月に入ってから、コロナ感染者が増加傾向を見せ、着々とコロナウイルスが私たちの日常生活にも迫っています。9月からは、みらいこども園も全園児が登園しますので、今まで以上に感染予防を徹底し、細心の注意をして参ります。家庭内感染も多くなっているとの情報もありますので、気を引き締めて、体調を整え感染防止に努めていただきたいと思います。

一方、ソーシャルディスタンスが定着したことで、会話や挨拶が減り人との関わりが少なくなり、人間関係が希薄になってきています。特に人と人との挨拶は、相手の存在を認めて心を通じ合わせる大切な行為で、人間関係を円滑する要素がたくさん含まれています。まして、乳幼児期は、人間形成の基礎を培う大切な時期です。人との関わりがあってこそ「生きる力」を養いたくましく育っていきますので、基本的なマナーや挨拶は、園生活の中でも習慣付けていきたいと思います。子どもは、周囲の大人の姿を見て育ちますので、保護者の方も、お子様の手本になるよう意識して子育てをしてください。コロナ渦の中ではありますが、人との表面的な距離は置いて心とのつながりはしっかりと結びつけていきましょう。

2学期は、行事も多く子ども達が、それぞれの力をステップアップする時期です。個々の興味・関心に気づき、“やってみよう”という気持ちを十分に満足させ、学びや育ちを見守っていききたいと思います。今後も、私たち保育者は、常に、保育を振り返り、園児一人一人の人格を大事にした時間や場所の保障を考え、この乳幼児期に培ったものが、将来、どんなことにも自分で生きていける力に反映していけることを心から願います。



ほし1組・そら2組の床の修繕
工事を行いました。



窓ガラスにお絵かき